

# のり海況速報 第9報 (26-9)

平成27年 1月21日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/19：内湾(ふさなみ)、1/20：内房北部(ふさなみ)  
 関東・東海海況速報(1/9-21)、東京湾口海況図(1/9-21)  
 自動観測ブイデータ(1/9-21)、拓南観測データ(1/9-21)  
 モニタリングポスト(1/19：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(1月7日)よりさらに約1~2℃下がり、19日現在おおむね8~10℃台になっています。塩分はほぼ31~32台前半で、依然平年より高めです。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近まではほぼ一様に分布し、これ以深では水温13℃以上の水塊がみられています。
- ・内房北部の表層水温はほぼ11~15℃台で、浦賀水道航路付近では13日ごろから流入している沖合水の影響によって15℃前後になっています(図1)。
- ・内房北部の水温・塩分の鉛直分布(図2)でも、浦賀水道航路付近の表層から底層まで水温14.5℃以上、塩分34以上の水塊がみられていますので、この動きには注意が必要です。

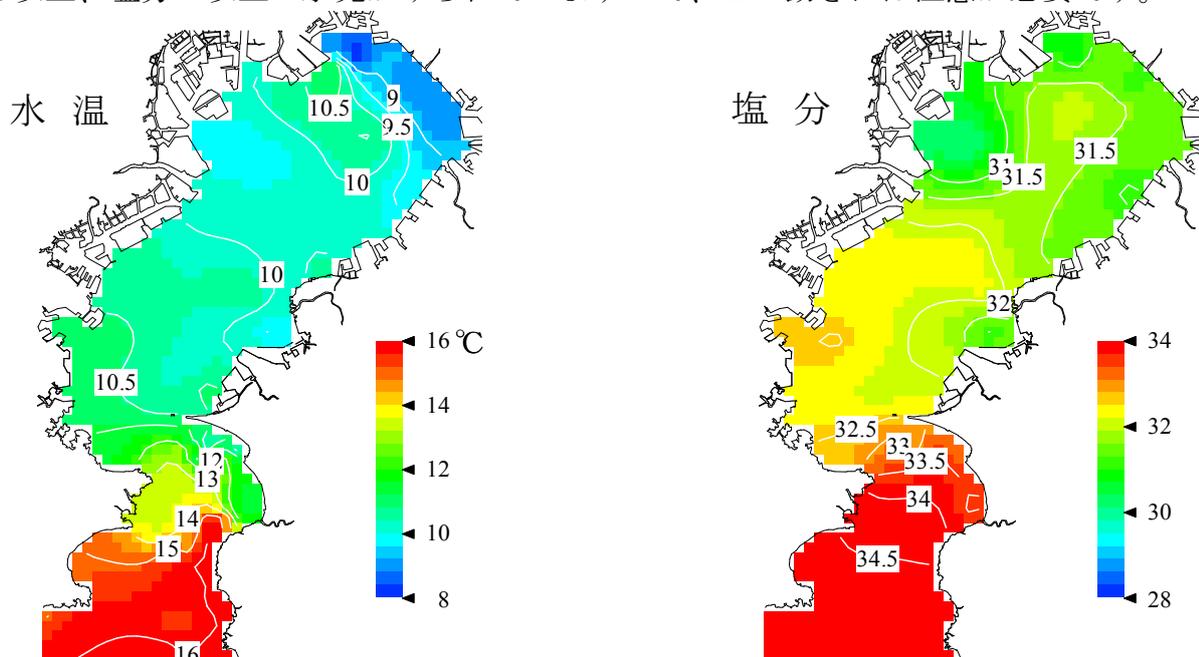


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 1月19-20日)

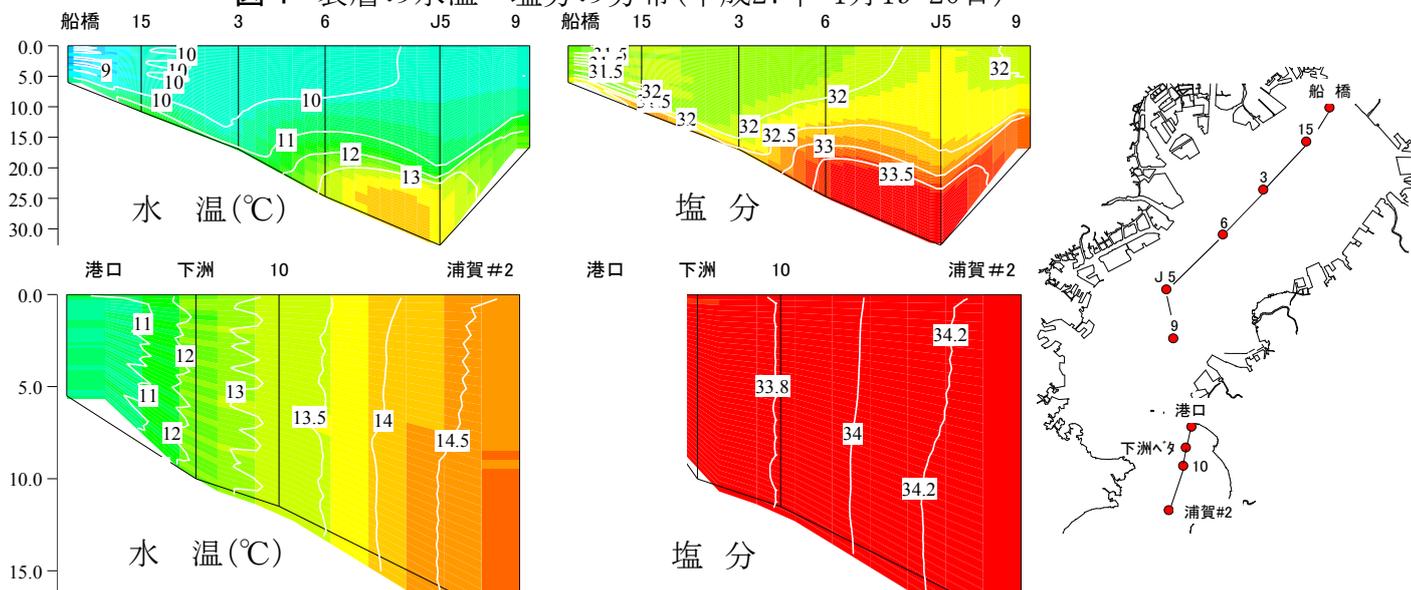


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 1月19-20日)

(上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していませんが、スケルトネマやタラシオネマなどのケイ藻プランクトンが再び増加し、アクアライン以北の千葉県側ではpH8.5、水色が褐色を帯びているところがありました。
- さらに、透明度は千葉北部地区ノリ漁場付近で2m台まで低下していました。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも十分あり、いまのところのり養殖にとって問題ない濃度です。

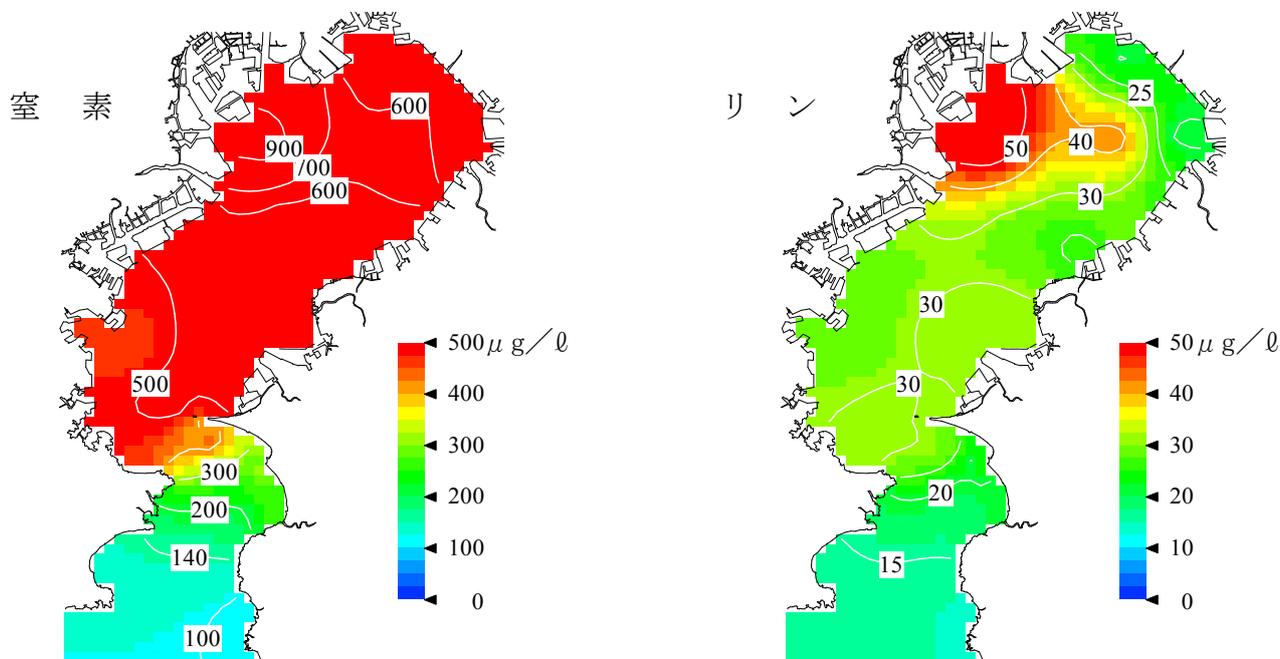


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 1月19-20日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯 : [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)